

「学級集団の状況アセスメントシート」

—すべての子どもが「わかる・できる」授業づくり・集団づくりをめざして—

平成 25 年 4 月

— 大阪府教育センター —

1. シート作成の目的

□このシートは、学校園の状況や学級集団の傾向を知り、発達障がい等のある子どもを含むすべての子どもにとって「わかる・できる」授業づくりの在り方を実践研究するための「学級集団の状況アセスメントシート」です。したがって、発達障がい等のある子どもの状況を把握するものではありません。

□シートは下表のとおり4つあります。

シート番号	シート名	記入者
1	「学校園と地域・家庭とのつながりの状況」	学校園長
2	「学級における子どもどうしのつながりの状況」	担任又は子どもの状況をよく知る 教員
3	「授業づくりの状況」	
4-1	「【幼稚園】子どもの活動における状況」	
4-2	「【小・中学校】学習・行動面の状況」	

□このアセスメントシートは、アドバイザースタッフが派遣される際の相談や助言等に活用いただくとともに、学級集団の強みの点を生かした集団への指導に必要となる手立てや、充実した授業づくり・集団づくりにつなげるためのツールとして活用いただきたいと考えています。

2. 記入の方法

- (1) 各シートについて該当する欄に○や数字等、指示のあるものを記入します。
- (2) シート4については、（別紙 記入の方法）を参考に記入してください。
- (3) シートの記入は最初からすべて埋まらなくてもかまいません。

【作成協力】

「平成 25 年度通常の学級における発達障がい等支援事業」 アドバイザースタッフ	
伊丹 昌一	梅花女子大学教授
小田 浩伸	大阪大谷大学教授
鳥居 深雪	神戸大学教授
中尾 繁樹	関西国際大学教授
松久 眞実	プール学院大学講師